

一般社団法人 日本薬学教育学会 第3回理事会 議事録

開催日時：令和5年11月21日（火）10：00～12：00

開催場所：WEB 会議システム（ZOOM）による開催

理事：乾 賢一、中村明弘、入江徹美、木内祐二、小佐野博史、鈴木 匡、高橋一栄、
武田香陽子、平田收正、松浦正佳、三浦典子、山田成樹

委員長：木下 淳

監事：林 正弘

<欠席> 理事：有田悦子、石川さと子、長谷川洋一

監事：亀井美和子

事務局：横川和代

議事に先立ち、定款第35条第2項に基づき、議事録には乾理事長と林監事が署名又は記名押印することが確認された。

議事：

1. 前回理事会議事録案について（承認事項）

中村副理事長より2023年度第1回理事会の議事録（案）に基づいて議事の概要が報告され、議事録として承認された。

2. 2023年度定時社員総会議事録案について（承認事項）

中村副理事長より2023年度定時社員総会の議事録（案）が提示され、一部修正の上、議事録として承認された。

3. 第8回大会実施報告（報告事項）

第8回大会の実行委員長を務めた入江理事から、8月19日・20日に市民会館シアーズホーム夢ホール（熊本市市民会館）と熊本市国際交流会館で4年ぶりに現地開催された大会の概要が資料に基づいて報告された。テーマは「薬学教育、次のフェーズへ～グローバルコラボレーションの進展～」で、プログラムは特別講演1件、教育実践奨励賞受賞講演1件、特別企画1件、シンポジウム14件、ワークショップ9件、一般演題（ポスター発表）106題（一般91題、学生15題）であった。学生発表から3題が優秀発表賞に選ばれた。参加登録者は一般330名、学生17名で、大会参加者総数は374名であった。また、8月21日にはサテライトシンポジウム「薬学教育および薬剤師職能の動向に関する国際シンポジウム」を熊本大学薬学部を会場としてハイブリッド形式で開催した。

4. 2023年度学会賞（教育研究奨励賞・教育実践奨励賞）の募集について（協議事項）

学術担当の鈴木理事より2023年度学会賞として教育研究奨励賞と教育実践奨励賞の募集について資料に基づいて説明された。応募の締め切りは令和6年2月19日とした。募集に際して「過去に応募された方もその後の実績を踏まえて再度応募いただくことが可能です」の文章を強調する。

学会賞の応募者を増やす方策について意見交換が行われ、活性化に向けた議論を継続することとした。

5. 役員選挙の実施について（協議事項）

中村副理事長から役員選任チャートと役員・理事長等選任細則が紹介された。続いて、事務局から役員選挙に向けた各種資料と今後の流れが説明され、承認された。

6. 薬学実務実習委員会の委員会名変更について
小佐野理事、鈴木理事および平田理事より資料に基づいて薬学実務実習委員会の名称を「薬学教育カリキュラム検討委員会」に変更する趣旨説明があり、承認された。薬学教育モデル・コア・カリキュラムの令和4年度改訂に伴い、「F 臨床薬学」のカリキュラムを統合的に検討し、より広い観点で教育効果の検証やこれに基づくカリキュラムの充実等を図ることが求められる。薬学教育カリキュラム検討委員会では臨床薬学に係るより多様な学会員の参画を求め、委員会活動を推進していく。
7. 薬学教育のニーズ調査アンケートについて（承認事項）
中長期ビジョンワーキンググループ担当の入江理事より資料に基づいて若手メンバーが企画しているアンケート調査について説明が行われた。協議の結果、アンケートの内容および実施方法についてさらに検討することとした。
8. 中長期ビジョンワーキンググループ アンケートについて（承認事項）
入江理事より資料に基づいて中長期ビジョンワーキンググループから会員に向けたアンケートが提案され、協議の結果、承認された。
9. 日本薬系連合パブリシティ委員会報告について（報告事項）
乾理事長より、資料の日本薬系連合の委員会議事録を確認するよう依頼された。
10. 第9回大会準備状況報告（報告事項）
第9回大会の実行委員長を務める三浦理事より第9回大会の準備状況が報告された。第9回大会は令和6年8月17日（土）・18日（日）に東京薬科大学を会場として開催する。テーマは「薬学教育におけるプロフェッショナルリズムとは？」で、参加予定者数は約450名に設定した。特別講演は朝比奈真由美教授（千葉大学）と藤崎和彦教授（岐阜大学）に依頼し、シンポジウムは15件、ワークショップは5件を予定している。
11. 委員会報告（報告事項）
 - ・ 編集委員会
入江委員長より資料に基づいて、「薬学教育」のJ STAGE 公開状況と論文投稿・審査状況が報告された。
 - ・ 薬学実務実習委員会
理事会承認を受けて、本日付で名称を変更することが報告された。
 - ・ 倫理教育委員会
有田理事から提出された資料を確認するよう理事長から依頼された。
 - ・ ICT教育委員会
木下委員長より、資料に基づいて今年度開催された2回の委員会の内容が紹介された。日本医学教育学会から本学会とのコラボレーションが提案された。
12. 担当理事報告（報告事項）
 - ・ 生涯教育担当
山田理事から資料に基づいて日本医療薬学会年会で本学会と共催したシンポジウムの概要が紹介された。

- ・連携教育担当
木内理事から資料に基づいて医療系学会で展開している多職種連携教育に関するシンポジウム・パネルディスカッションの企画・共催・後援の実施状況が報告された。

13. 理事長報告（報告事項）

乾理事長から資料に基づいて以下の事項の報告がなされた。

- ・理事長職務実施状況
- ・日本薬系学会連合について：ホームページの紹介、フォーラム開催
- ・The 7th AASP Pharmacy Education Forum 2024 について
6-8 March, 2024, Best Practices in Advancing Pharmacy Education in the Next Decades
- ・The 81st FIP World Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences, Brisbane, Australia, 24-28 September 2023 での講演について
- ・FIP Digital Events(Asia) 10 October 2023, “Learnings from Policy Leaders in Pharmacy around the World” でのパネリスト参加について
- ・FIP Development Goals 2020 日本語版（事前送付）

14. 会員登録状況報告（報告事項）

事務局より資料に基づいて2023年11月16日時点の会員数の増減・会費納入状況が報告された。個人会員は765名で2023年度の会費納入率は74.6%、学生会員は70名で会費納入率は30%、機関会員は67件で会費納入率98.5%、賛助会員は7件で会費納入率85.7%であった。

以上の議事内容を明確にするため、本議事録を作成し、理事長及び出席監事がこれに署名捺印する。

2024年2月 日

一般社団法人 日本薬学教育学会

理事長 乾 賢一

監 事 林 正弘